



令和 5年 2月 24日

深川市議会議長 鶴岡 恵司 様

会派名 民主クラブ  
代表者名 会長 大前 昭代



政務活動費収支報告書

深川市議会政務活動費の交付に関する条例第 11 条第 1 項 (第 2 項) の規定により、下記のとおり令和 4 年度政務活動費収支報告書を提出します。

記

1 収入  
政務活動費 330,000 円

2 支出

(単位:円)

科目	金額	備考
調査研究費		
研修費	305,775	第 24 回全国都市問題会議 (長崎県長崎市) 個性を生かして『選ばれる』まちづくり ~何度も訪れたい場所になるために~ R4.10.12~10.14  第 17 回全国市議会議長会研究フォーラム (長野県長野市) デジタルが開く地方議会の未来 R4.10.18~10.20
広報費	5,720	民主クラブ通信
広聴費		
要請・陳情活動費		
会議費		
資料作成費		
資料購入費	18,505	国民森林会議 北海道自治研究 月刊「地方議会人」
人件費		
事務所費		
合計	330,000	

(注) 備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

3 差額 0 円



令和4年 12月 20日

深川市議会議長 鶴岡 恵司 様

会 派 名 民主クラブ

代表者名 会長 大前 昭代



政務活動費実績報告書

深川市議会政務活動費の交付に関する条例第8条の規定により、下記のとおり報告します。

記

使 途	<input type="checkbox"/> 調査研究費	<input type="checkbox"/> 研修費	<input type="checkbox"/> 広報費	<input type="checkbox"/> 広聴費	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費
	<input type="checkbox"/> 会議費	<input type="checkbox"/> 資料作成費	<input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費	<input type="checkbox"/> 人件費	<input type="checkbox"/> 事務所費
実施期間	令和4年7月7日・令和4年7月25日				
実施場所					
参加者名	民主クラブ				
実績額	16,192 円				
内 形	「北海道自治研究」年間購読料 6,000 振込手数料 110 月刊『地方議会人』年間購読料 9,972 振込手数料 110				





令和4年 12月 20日

深川市議会議長 鶴岡 恵司 様

会 派 名 民主クラブ

代 表 者 名 会長 大前 昭代



政務活動費実績報告書

深川市議会政務活動費の交付に関する条例第8条の規定により、下記のとおり報告します。

記

使 途	<input type="checkbox"/> 調査研究費	<input type="checkbox"/> 研修費	<input checked="" type="checkbox"/> 広報費	<input type="checkbox"/> 広聴費	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費
	<input type="checkbox"/> 会議費	<input type="checkbox"/> 資料作成費	<input type="checkbox"/> 資料購入費	<input type="checkbox"/> 人件費	<input type="checkbox"/> 事務所費
実施期間	令和4年10月31日				
実施場所	深川市内新聞折り込み				
参加者名	民主クラブ				
実績額	5,720 円				
内 形	民主クラブ通信 No.5 発行 リサイクルコピーペーパー B4 5,000 枚購入				





令和4年 12月 20日

深川市議会議長 鶴岡 恵司 様

会 派 名 民主クラブ

代 表 者 名 会長 大前 昭代



政務活動費実績報告書

深川市議会政務活動費の交付に関する条例第8条の規定により、下記のとおり報告します。

記

使 途	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費	<input type="checkbox"/> 研修費	<input type="checkbox"/> 広報費	<input type="checkbox"/> 広聴費	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費
	<input type="checkbox"/> 会議費	<input type="checkbox"/> 資料作成費	<input type="checkbox"/> 資料購入費	<input type="checkbox"/> 人件費	<input type="checkbox"/> 事務所費
実施期間	令和4年10月12日～10月14日				
実施場所	出島メッセ長崎				
参加者名	田中 昌幸 ・ 大前 昭代 ・ 田畑 陽美				
実績額	246,870 円				
内 容	<p>第84回 全国都市問題会議                      テーマ 個性を生かして『選ばれる』まちづくり                      ～何度も訪れたい場所になるために～</p> <p>第1日                      基調講演 高田 旭人氏 (株式会社ジャパネットホールディングス代表取締役兼 CEO)                      主報告 田上 富久氏 (長崎県長崎市市長)                      一般報告 田中 輝美氏 (島根県立大学地域政策学部准教授)                      佐藤 孝弘氏 (山形県山形市市長)                      高尾 忠志氏 (一社 地域力創造デザインセンター代表理事)</p> <p>第2日 パネルディスカッション                      コーディネーター 大杉 覚氏 (東京都立大学法学部教授)                      パネリスト 野口 智子氏 (ゆとり研究所所長)                      田中 敦氏 (山梨大学生命環境学部教授)                      桐野 耕一氏 (NPO法人長崎コンプラドール理事長)                      都築 淳也氏 (岐阜県飛騨市市長)                      藤原 保幸氏 (兵庫県伊丹市市長)</p>				

## 第 84 回 全国都市問題会議（長崎）参加報告

---

### 個性を活かして『選ばれる』まちづくり

#### ～何度も訪れたい場所になるために～

基調講演で(株)ジャパネットホールディングス代表取締役兼 CEO の高田旭人氏がお話された内容は、驚きと感動、関心の連続で、まず自分の会社だけでなく行政と民間の連携で、地方創生はうまくいくはずと考えており、地元長崎でプロサッカークラブを運営し、そのことをきっかけに地域を盛り上げたいという気持ちも強くなり、事業方針として掲げてきた「見つける」「磨く」「伝える」を活かせるようになるようになったこと。

プロサッカークラブを運営することで、集客を見込めるスタジアムシティを実現させるプロジェクトを立ち上げ、サッカーやバスケットを習いながら、英語も学べるスクール開設や賃貸オフィス、長崎大学大学院を誘致し、大学院生、大学生と企業がスタジアム内で交流できるなどの環境も整える等アイデアを出し合い建設しているというお話をされていました。

また民間企業だけでは出来ないことも数多く存在することから「地域を活性化させる」という同じゴールの絵を持って地域創生を実現させていきたいとも話されており、長崎で地方創生のモデルを横展開し、日本全国の発展へ貢献できることを目指したいともおっしゃっていたので、今後も注目していきたいと思ったとともに、観光地北海道に住む私たちも「見つける」「磨く」「伝える」をもって地域を見直さなければと思わされました。

まちを盛り上げたい、人口を増やし、経済を活性化し、地域資源を活用して地域の魅力を広く伝えていく。この思いは、行政も民間企業も同じであるということ。ただ、そこへ行きつくための手段や役割は大きく異なるということ。

行政は常に公平性を保つことが必要だが、民間は公平性に左右されず、思い

切った取組が出来る。ただし、民間企業だけでは出来ないことも多くあることから、同じゴールを持って、一緒に理想の地域創生を実現したいとお話されていたことに感動しました。

本市でのまちの活性化に向けても、行政だけではなく、民間企業、市民、地域と共に進んでいくことが、今後にまちづくりは、大変、大切であり、必要だと改めて感じました。

大前 昭代

田畑 陽美

田中 昌幸





令和4年 12月 20日

深川市議会議長 鶴岡 恵司 様

会派名 民主クラブ

代表者名 会長 大前 昭代



政務活動費実績報告書

深川市議会政務活動費の交付に関する条例第8条の規定により、下記のとおり報告します。

記

使 途	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費	<input type="checkbox"/> 研修費	<input type="checkbox"/> 広報費	<input type="checkbox"/> 広聴費	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費
	<input type="checkbox"/> 会議費	<input type="checkbox"/> 資料作成費	<input type="checkbox"/> 資料購入費	<input type="checkbox"/> 人件費	<input type="checkbox"/> 事務所費
実施期間	令和4年10月18日～10月20日				
実施場所	ホクト文化ホール				
参加者名	大前 昭代 ・ 田畑 陽美				
実績額	125,741円 (内 58,905円)				
内 容	<p>第17回全国市議会議長会研究フォーラム in 長野                      テーマ デジタルが開く地方議会の未来                      第1部 基調講演 「コロナ後の地域経済」                      富山 和彦 株式会社 経営共創基盤 (IGPI) グループ会長                      第2部 パネルディスカッション 「地方議会のデジタル化の現状・課題の可能性」                      コーディネーター 人羅 格 (毎日新聞論説委員)                      パネリスト 岩崎 尚子 (早稲田大学電子政府・自治体研究所教授)                      牧原 出 (東京大学先端科学技術研究センター教授)                      湯浅 壘道 (明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科教授)                      寺沢 さゆり (長野市議会議長)                      第3部 課題討議 「地方議会のデジタル化の取組報告」                      コーディネーター 谷口 尚子 (慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科教授)                      事例報告者 金沢 克仁 (取手市議会議長) ・ 板津 博之 (可児市議会議長)                      林 晴信 (西脇市議会議長)</p> <p>議長フォーラム参加費 9,000×2名分<sup>①</sup> 振込手数料 385<sup>②</sup>                      10/18 旭川空港～羽田空港 (往復)                      10/18～20 長野宿泊費 (2泊) 36,100×2名分<sup>③</sup>                      10/18 羽田空港～浜松町～東京 649×2名分<sup>④</sup>                      10/18・20 東京～長野 (往復) 16,280×2名分<sup>⑤</sup>                      10/20 東京～浜松町～羽田空港 649×2名分<sup>⑥</sup></p>				



# 第 17 回全国市議会議長会研究フォーラム in 長野

## 参加報告

### ～デジタルが開く地方議会の未来～

この度、3年振りとなる全国市議会議長会研究フォーラムに参加させていただきました。会場では、全席指定席となり、新型コロナウイルス感染症拡大予防対策がしっかり行われた中での開催でした。

第1部 基調講演では、株式会社経営共創基盤グループ会長 富山和彦氏から、全国のローカル路線バスの経営立て直しの実例で、利用されない～路線を減らす～さらに利用しない～廃線～スパイラルからいかに脱出するか？をお聴きし、この地域に反映できるのか？して行かなければの思いを強くしました。

また「コロナ後の地域経済」と題された基調講演の中で、大事な事は、よそ者、若者を積極的に受け入れ、人材確保しなければ人口密度の低下は免れず経済密度もそれに伴い低下するという事、合わせて生産性も低下するのだという話がありました。

新しい知恵や考えを取り入れることは、その地域の宝になるとも話されており、なるほどと感心しきりで基調講演が終わりました。

第2部 パネルディスカッションでは、「地方議会のデジタル化の意義と課題」と題し、研究者たちからの提言を拝聴しました。

その中で、デジタル化は待ったなし、目的ではなくツールとして当たり前活用するもの、市民との情報共有の大切さなどが提起されました。

また、地方議会のデジタル化が課題となっている中、非接触社会への対応として、介護・育児等多様で柔軟な選択肢として、また有事・平時にかかわらず



議会の役割を継続するために、人口の多い市は議会を含めてデジタル推進を図り、人口が少ない市においては、地域にあったデジタル化対策を進めるべきだというお話があり、まさにこれから実行に向けて取り組むべき課題で、自分のスキルアップも必要だと思い知らされるものでした。

第4部 課題討議「地方議会のデジタル化の取り組み報告」では、全国の先進市議会代表から取り組み報告が行われました。

報告では、デジタルディバイドへの対応、導入反対者への対応、慣れてしまえば問題はなくなる、かたくなに拒否する方もいる、市民に開かれた議会運営にデジタル化は必須、などなど多くの事例紹介があり、新庁舎での導入が重要と感じました。

大前 昭代

田畑 陽美

別記様式第5号(第4条関係)



令和4年 6月 24日

深川市議会議長 鶴岡 恵司 様

会 派 名 民主クラブ

代表者名 会長 大前 昭代



政務活動費実績報告書

深川市議会政務活動費の交付に関する条例第8条の規定により、下記のとおり報告します。

記

使 途	<input type="checkbox"/> 調査研究費	<input type="checkbox"/> 研修費	<input type="checkbox"/> 広報費	<input type="checkbox"/> 広聴費	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費
	<input type="checkbox"/> 会議費	<input type="checkbox"/> 資料作成費	<input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費	<input type="checkbox"/> 人件費	<input type="checkbox"/> 事務所費
実施期間	令和4年6月13日				
実施場所					
参加者名	民主クラブ				
実績額	2,313 円				
内 形	国民森林会議 購読料				